



1月21日 双国校生がサイクリングコースを提案

国東高校双国校で「地域ソーセイプロジェクト」の報告会が行われ、3年生が三河市長に「国見町の魅力を伝えるサイクリングコース」を提案しました。三河市長が「コースの名称やターゲット客の設定などが面白いと思いました。サイクリングは観光の柱の一つなので、皆さんの提案を参考にしたいです」と講評。生徒を代表して長谷川歩さんが「プロジェクトを通じて、地元の魅力を知ることができました。市の未来をつくる一人として、今回の経験を生かして頑張りたいです」と今後の決意を述べました。



1月6日 コロナ禍に苦しむ事業者へ支援を

市商工会の岡林敏勝会長らが市役所を訪れ、「市内での新型コロナウイルス感染拡大に伴い、飲食業や宿泊業などの事業者が厳しい状況におかれている」として、三河市長に市の支援を求める要望書を手渡しました。これを受けて、市は飲食・宿泊業者への応援金創設や、プレミアム商品券の利用期限延長などの支援策を行いました。



1月6日 農業委員会委員に藤川さんを任命

市の農業委員会委員に、新たに藤川利博さん(国見町榎海)が任命されました。三河市長から任命書を受け取った藤川さんは「地域農業発展のために頑張りたいです」と意気込みを語っていました。



1月29日 田深公民館で飲食店応援企画

国東町の田深公民館で、市商工会青年部の有志による「国東井DEN返し(くにさきどんでんがえし)」が行われました。このイベントは、コロナ禍で苦しむ市内の飲食店を支援しようと企画されたもので、この日は町内の「志まる」と「川口屋」の特製持ち帰り丼ぶりが販売されました。今後も店舗を変えて毎月開催していく予定です。



1月22日 市内全域に食品を宅配

市役所玄関前で、飲食店や商工会の関係者などが出席して「国東市個人宅配サービス事業」のスタート式が行われました。この事業は、飲食店24店舗のメニューを市全域に宅配するサービスを行うものです。事業代表者の長峰公視さん(中央)は「コロナ禍で飲食店が苦しんでいるので、多くの方に利用してほしいです」と話していました。



1月21日 長年の功績を表彰

秋の叙勲で「旭日単光章」を受章した元国見町議会議員の松本軍治さん(国見町伊美)に、三河市長から賞状と記念品が手渡されました。三河市長がお祝いの言葉を贈ると、松本さんは「90歳が近づいてきましたが、まだまだ元気です。これからもできる範囲で社会に貢献したいです」と力強く話していました。



1月15日 投票意欲を高める

国東高校で2年生と3年生が参加して、「選挙出前授業」が行われました。県と市の選挙管理委員会の担当者が選挙制度や投票率などについて説明。その後、生徒は模擬投票と開票作業を体験しました。3年生の榎窪純平さんは「政治に興味を湧いたので、投票に行ってみたいと思いました」と話し、投票意欲が高まったようでした。

